

「総合的学習・探究」の支援



新しい学び「ラーケーション」の活用

茨城県は、年間最大5日間の「ラーケーション（体験活動推進日）」を設定

→自衛隊イベントや基地見学への参加を期待

※親子や部活単位での、「自衛隊音楽まつり」や「基地見学」への参加を提案



「ラーケーション」

茨城県では、未来につながる新しい学びとして体験的・探究的な活動を推進するために、令和6年度より「ラーケーション」を導入しました。

平日だからこそできる校外（家庭や地域）での体験活動を、ぜひ計画してみませんか。

茨城県立中学校、県立高等学校、県立中等教育学校の保護者及び生徒の方へ

ラーケーション～体験活動推進日～が始まります

「体験活動推進日」とは

これからの社会では、自己の在り方生き方を考えながら、課題を発見し解決していくことができる力が求められます。そのような力を身に付けるためには、地域に出かけたり、多くの人と出会ったりする体験活動を通して学ぶということが有効です。

生徒がそのような時間を取るができるよう、茨城県では年間最大5日間の「体験活動推進日」を設定します。

「体験活動推進日」申請の流れ

- 1 計画 「体験活動推進日カード」を参考に計画を立てる。
① 日程 ② 場所 ③ 内容
- 2 学校へ申請 学校から指定された方法（アプリやメール、電話等）で、期限（原則1週間前）までに申請する。
- 3 活動 体験活動を行う。
- 4 振り返り 体験したことについて、保護者や友人と話し合うなどして、活動の振り返りを行う。

体験活動の例

- 職場体験！ やりたい仕事をやってみよう
インターンシップだけでなく、業務の目に触れたい仕事を体験してみよう。
自分の学びたい仕事や関心のある業界を探してみよう。
- 学校体験！ 普段の様子を垣間見よう
県立の大学や専門学校の様子を見てみよう。
大学受験や、進路の決定に役立つ情報を得よう。
- 自然の中へ！ 創作活動してみよう
自然を身近に感じながら、絵画・作文・音楽などを通して表現してみよう。
いつもと違う環境で創作活動が楽しめるかもしれません。
- 再発見！ 地域の歴史を調べよう
茨城の歴史や文化について学び、地域の魅力を再発見しよう。
自分自身と地域の歴史について再発見できるかもしれません。

任期制の場合 (海上自衛隊)

採用 → 自衛官候補生教育 3か月間 → 【1任期目】 2年9か月間 → 【2任期目】 2年間

任用一時金 **約34万円** | 指定場所生活調整金 **6年間で最大120万円**

海上自衛官として**2任期(5年)**で退職した場合
給与の総額は **約3,092万円**

特例退職手当も出るよ
特例退職手当
約118万円(1任期目3年)
約181万円(2任期目2年)

休日: **年間約150日** | 勤務時間08:15~17:00(基準)

+ **プラス!!!**

パラエティー豊かなバランスの良い食事
自衛隊病院等での治療・入院は**無料**

衣・食・住・医療 全て提供

(参考)年間の衣食住に係る費用: 約111万円
(参考)年間の保険医療に係る費用: 約6万円

トレーニング施設もあるよ

自衛官を続ける事もできますよ

希望者の **再就職率 99%以上**

大学等進学時 **年間最大 53.6万円**支給

再就職または進学

任期満了したら **進学**したい!

お金を貯めて退職後は **起業**しよう!

退職後は **民間企業**で働いてみたい!

大学の **奨学金**を返済したい!

本紙に記載されている各値については、一部、令和7年度予算案に基づき制作しております。

定年制の場合 (陸上自衛隊)

陸上自衛隊

- 処遇改善施策
- 自衛官としての給与(年額)
- 再就職賃金(年額)
- 若年定年退職者給付金(年額)

単位: 万円

生涯収入は **約2.8億円**

2士で入隊し、曹長56歳で退職する者(独身)の生涯収入モデル

採用 18歳 → 定年 56歳 → 定年の延長 ~60歳 → ~65歳

入隊時の処遇改善: 約350万円

現役時の処遇改善: 約720万円

自衛官としての給与: 約310万円

再就職賃金(年額): 約230万円

若年定年退職者給付金(年額): 約250万円

再就職先拡充等をはかりつつ、若年退職者給付金の引き上げを検討: 約370万円

知識・技能・経験を活かした再就職先の拡充: 約140万円

(参考)高卒生涯収入平均2.7億円(出典: 労働政策研究・研修機構(JILPT) ユースフル労働統計2024 生涯賃金)

勤務・生活環境の改善



Ibaraki PCO

出典: 自衛官募集チャンネル 第1回陸海空自衛隊どこに入るか選手権

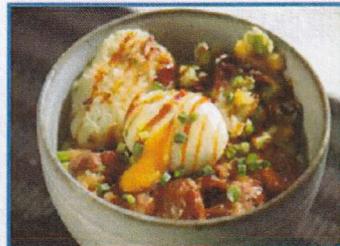
21

勤務・生活環境の改善

✓ 地元産品を活用したメニュー



陸自出雲駐屯地: 秋の炊き込みご飯、出雲そば
(出雲産の出雲そば、西浜宇を使用)



陸自帯広駐屯地: とり〜り卵のとちぎ井
(十勝産のホエイ豚、川西長いもを使用)



空自奥尻島分屯基地: ういんソース空上げ
(奥尻産ワイン、奥尻産ういんを使用)

✓ 我が国の水産物の消費拡大



海自大村航空基地隊: あじ茶漬け
(長崎県産あじを使用)



海自第25航空隊: ホタテラーメン
(青森県産のホタテを使用)



空自襟裳分屯基地: 桜袋ラーメン
(えりも町産のつぶ貝、大ずわいがに、昆布を使用)

Ibaraki PCO

出典: 自衛官募集チャンネル 第1回陸海空自衛隊どこに入るか選手権

22

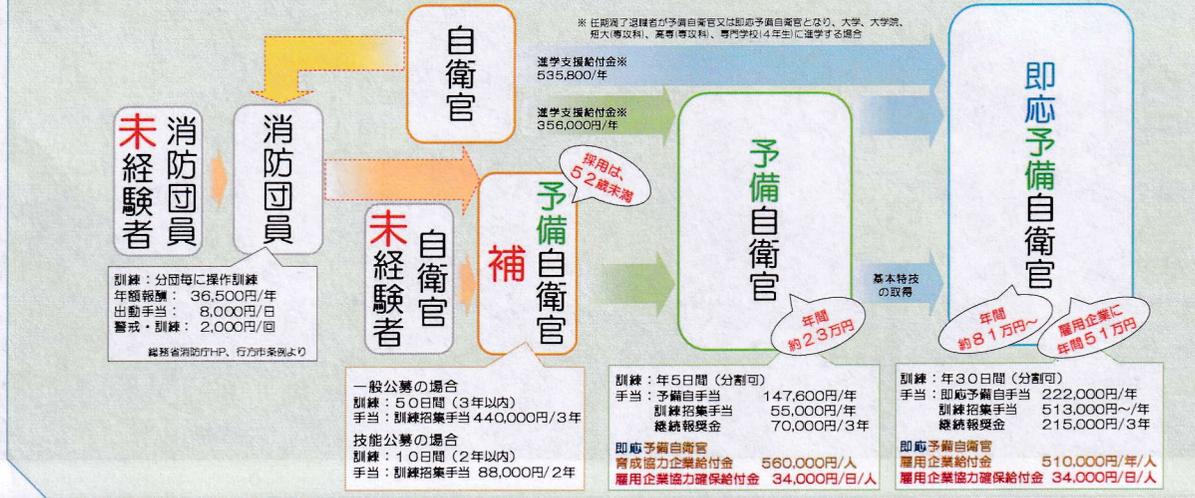
消防団員と予備自衛官の相乗効果

それぞれの制度(報酬、訓練)を活用して、市民と国民の安心安全に貢献するため、「地元で何かあれば消防団員として、日本で何かあれば予備自衛官として」活動

一例：退職した自衛官の消防団員への勧誘や現職自衛官でも可能な団員活動
 消防団員が予備自衛官となり、自衛隊での招集訓練も含めた訓練管理
 →制度上の調整が必要であるものの、消防団員の募集と予備自衛官の募集における連携の余地あり。

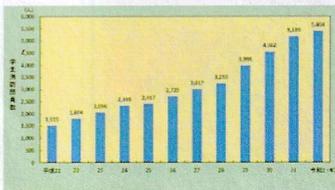
参考：令和5年度〇〇市消防団のあり方に関する検討委員会報告書

「消防団の抱える課題・・・消防団の処遇、消防団員の負担、・・・消防力の確保、・・・
 ...消防団員の確保はさらに困難が予想される。...持続可能な消防団組織とし、〇〇市の安心安全の確保に努めて・・・」



経歴への活用 自己PR ↑

社会貢献実績、災害対応能力、安全保障への関心
 転職社会における自己PR向上(消防団員+予備自衛官)



学生消防団員



+

予備自衛官補

予備自衛官補も
 普段、自分の仕事(会社員等)や
 勉強(学生等)をしながら



予備自衛官は



ちゃんと訓練に出頭していると
 手当てがもらえる

学歴・職歴
学歴
20XX年〇月 私立〇〇高等学校 卒業
20XX年〇月 私立〇〇大学 入学
20XX年〇月 私立〇〇大学 卒業
職歴
20XX月～20XX年〇月 株式会社〇〇レストラン
20XX年〇月～20XX年〇月 陸上自衛隊〇〇師団(2任期)
20XX年〇月～現在 〇〇フードサービス
趣味・特技・資格・免許
20XX年〇月～20XX年〇月 〇〇消防団員
20XX年〇月 応急手当普及員
20XX年〇月 大型自動車運転免許
20XX年〇月～現在 予備自衛官(陸士長)
自己PR
私は、学生時に、消防団員として活動しつつ、予備自衛官補としての訓練を受け、一人一人が社会への貢献、地域防災への貢献の必要性を体験するとともに、安全保障への高い関心を養いました。 また、自衛隊で2任期過ごし、規律と忍耐力、リーダーシップとフォローシップを身に付けています。……



先行事例

募集と就職援護の相乗

東京消防庁と東京地本による 人材確保に係る協定

神奈川県警と神奈川地本の 採用募集活動に関する協力

消防試験制度の見直し
⇒自衛官候補生(任期制)についてのメリット

協力の概要

- ① 消防官Ⅲ類の**試験回数増加(2回/年)**
⇒任期中、消防試験の**受験機会が増加**
- ② 採用候補者名簿の**登録期間延長(3年間)**
⇒合格しても中途退職することなく
任期満了後に入庁可能
- ③ 試験課目に**SPI(総合適性検査)**の導入
⇒学科試験(英語・数学等)ではないため
試験対策容易化
- ④ 1次試験における**自衛隊新卒証明書**の提出
⇒2次試験で**団体生活への適応、規律、協調性**等をPR
- ⑤ 前職での**経験年数**を採用時の**号俸に加算**
⇒**最初から東京消防庁へ入庁した者と同等の処遇**

- 募集**
 - 警察との採用広報ポスターの合同制作・掲示
 - 警察と自衛隊との合同職場見学、公安系合同採用説明会の共同開催
 - 一般隊員・警察官に対する**採用制度説明資料の配布、警察の相互職場研修の実施**
- 就職援護**
 - **首都圏合同企業説明会、就職援護フェア、業種説明会等に警察が参加**
 - 警察が実施する**インターンシップ等への任期満了退職予定隊員等の参加**
 - **任期満了退職自衛官(自衛隊新卒)について、警察官採用試験において自衛隊経験等を考慮(県警の採用試験に銃剣道を加点要素となるよう検討中)**



協定書の調印



記者質問対応



合同職場見学



合同職場見学

Ibaraki PCO

出典: 自衛隊茨城地方協力本部防衛講話(7.5.29)

25



人材確保のアイデア

茨城の魅力ある就職援護の開拓

退職自衛官を配置すべき(開拓すべき)新たな分野の情報収集

自治体職員	教職	メガファーム
<p>検討事項 自衛官を対象とした選考</p> <p>現状 技術系職員の採用を検討(水戸市、北茨城市) 過疎地自治体で中途退職者が多く欠員 →任期制隊員の雇用に関心(高萩市、常陸大宮市、桜川市、結城市、八千代町、常総市、守谷市)</p>	<p>検討事項 自衛官を対象とした選考</p> <p>参考: 茨城県公立学校教員選考 スペシャリストを対象とした特別選考(教員免許未保有者) ・継続して3年以上の勤務経験 ・高度な専門的知識又は技能(技術士、1級建築士等) ・受験年齢: 59歳まで ・試験内容: 小論文、個人面接</p>	<p>検討事項 茨城県推進中の「儲かる農業」における退職自衛官の相互ニーズ</p> <p>参考: 茨城モデル水稲メガファーム育成事業(稲敷市、潮来市、河内町、結城市) リーディングアグリプレーヤー育成・確保事業(常陸大宮市) 美浦ハイテクファーム(国産パブリカ農場)</p>

【参考】



ハイテクファーム(国産パブリカ農場)



出典: 自衛隊茨城地方協力本部防衛講話(7.5.29)

Ibaraki PCO

26

予備自衛官補とは

対象
自衛官**未**経験者



予備自衛官**補**手帳



予 備 自 衛 官 補 と は

予備自衛官補制度とは、自衛官未経験者を予備自衛官補として採用し、所定の教育訓練を経た後、予備自衛官として任用する制度です。

また採用には技能採用と一般採用があり、一般採用の方は予備自衛官に任用後、即応予備自衛官に志願できます。

平 時



有 時

招集はありま
せん。

一般採用者は、**3年以内に50日間**、技能採用者は**2年以内に10日間**の教育訓練に参加し、必要な知識・技能を修得します。

訓練が終了した翌日に予備自衛官に任用(任期3年)されます。任用を拒否することもできます。

予備自衛官補とは

消防団のような??

予備自衛官補一般

災害派遣などで貢献したい

自衛隊に興味があるけど体力がない

3年間で50日間のお試し
自衛官になってみませんか?

自衛隊は厳しそう

子供の笑顔を守る!
先生は「予備自衛官補」。

自衛官でなくても、
18歳以上、52歳未満の方が
予備自衛官になれる制度です。
(在学中でもなれます。)

子供の笑顔を守る!
先生は「予備自衛官補」。
学校で火事・地震・事故などが
起きた際、真っ先に対応するのは
教員です。有事の際に一人
でも多くの子供たちを守る知識
と力を手に入れたいと思い志願
しました。

技能の方は、
2年間で10日間の訓練
一般の方は、
3年間で50日間の訓練

3年間で50日間の教育訓練

自衛官 未経験者 18歳～51歳	合格	第1段階 20日 初歩的な技能	第2段階 20日 戦闘行動に必要な技能	第3段階 10日 各種職種を 統合化	採用	陸上 予備自衛官
------------------------	----	-----------------------	---------------------------	-----------------------------	----	-------------

日額
教育訓練招集手当
8,800円

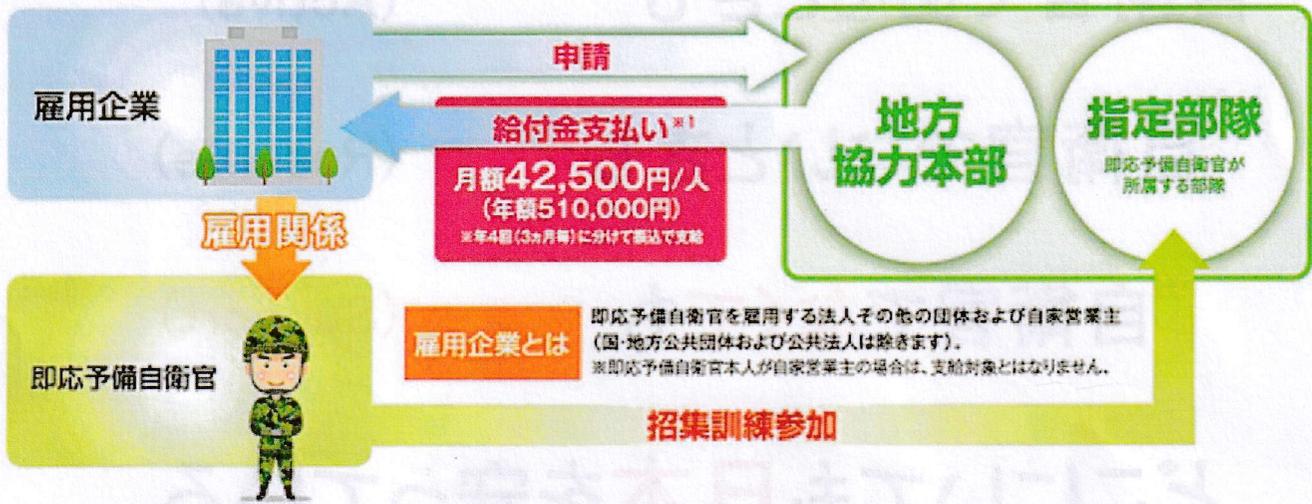
予備自衛官補とは、一般の社会人や学生といった自衛官未経験者が、所定の教育訓練を修了後に「予備自衛官」となる制度です。
予備自衛官は防衛招集命令、国民保護等招集命令及び災害招集命令により招集され、出動した日をもって自衛官となります。

どこにいても日本を守っている。
自衛隊茨城地方協力本部

教育訓練招集手当: 8,800円
支給総額:

技能 88,000円/2年
一般 440,000円/3年

即応予備自衛官雇用企業給付金



雇用企業協力確保給付金

給付対象となるケース①

防衛出動、国民保護等派遣、災害派遣等のため招集に応じ平素の勤務先を離れた場合

予備自衛官又は即応予備自衛官である従業員が10日間招集された場合(就業規則における休日は除く)



給付対象となるケース②

招集中における公務上の負傷又は疾病により平素の勤務先を離れた場合

上記①のための招集中又は訓練招集中において、公務上の負傷又は疾病により14日間(※)の入院等による治療を要するため、平素の勤務先を離れた場合

(※) 上限を90日とする。



自衛官であるときも

(Active)

自衛官でないときも

(Reserve)

自衛官でなくても

(Support)

どこにいても**日本**を守っている。



地本公式キャラクター
「にやっとら」



自衛隊 茨城

地域の窓口、自衛官の募集(入口)と再就職(出口)
自衛隊茨城地方協力本部